

対象農用地	農業用施設				■ 農地維持
[農地維持] 16 ha	開水路	パイプライン	農道	ため池	■ 資源向上 (農村環境保全活動まで)
[資源向上] 16 ha	3.8 km	3.3 km	3.7 km	2 箇所	■ 資源向上 (多面的機能の増進)
農業者 約	41 名	活動開始年度	平成 21 年度	活動	9 年目
農業者以外の	南小泉自治会、消防後援会、南小泉子供会、南小泉長寿会				
地域の概略	本地区は、笠間市の中央部に位置し団体営圃場整備事業（昭和50年代前半）によって整備された水田地帯です。水源は、地区上流の野田沢池、末端の調整池からは、用水機場を用いて排水を反復利用しております。この事業に取り組む以前から、農業者を中心としながら自治体が一体となり農業用施設を維持管理してきました。				

◆上半期の活動報告◆

農業用施設の適正な維持管理と生物の生息状況調査



いつ:4月

ため池の清掃。ポンプ給水槽の泥上げ。

いつ:5月

教育機関との連携。
田植えの体験。



いつ: 5月

水管橋の突発漏水。役員で応急的に補修対応。

いつ: 5月

生物の生息状況の把握(生き物調査)。子供会で実施。



◆今後も継続的に取り組む活動◆

施設への景観形成



彼岸花の植栽。地元意識の向上のため、子供会と合同で実施。

◆今後の展望◆

施設の老朽化が進んでいるが、補修工事などを直営工事により実施することでコストダウンした長寿命化に取り組んでいる。昨年幹線排水路の泥上げを重機により実施したところ、隣地水田の排水機能が向上し大豆等の収量が増加した。継続して生産性向上や多面的な事業を展開していきたい。

◆平成29年度下半期のスケジュール◆

11月	笠間市報告会
平成30年1月	害虫防除
平成30年2月	調整池護岸の整備
平成30年3月	総会
〃	(重機利用)大排水路の泥上げ